

葬儀・終活関連に参入

まず横浜、全国展開も視野

介護大手のツクイ

介護大手のツクイは、葬儀関連や終末期・死後の手続きなどを自分で考えて準備する「終活」に関するサービスをこのほど始めた。運営する有料老人ホームの入居者らの最期をみとるケースが少なくなく、利用者やその家族から要望が寄せられていた。自分らしい最期を迎えられるようにサポートする。まずは横浜市内の拠点で始め、将来は全国展開する。

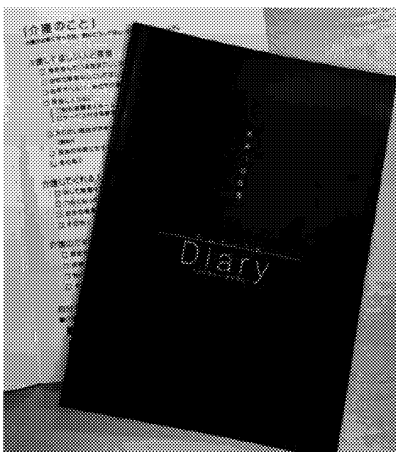
まず葬儀の前に故人の体や髪を洗い清める「湯灌（ゆかん）」のサービスを4月1日から始めた。このほど横浜市保土ヶ谷区内に拠点を設けた。依頼があれば専用の湯船や道具を持参し、サービスを提供する。

横浜市を皮切りに川崎市など徐々にサービスを提供するエリアを広げ、

ツクイは全国で拠点を展開している

	事業所数
デイサービス	47都道府県に498
グループホーム	14都道府県に37
有料老人ホーム	13都道府県で27
サービス付き高齢者向け住宅	5都県で15

(注) 4月4日時点



オリジナルのエンディングノートを作る

将来は全国で展開する考えだ。料金は湯灌のみだ。5万円、納棺まで手掛ける。6万円。同社は訪問入浴のサービスを提供している。要介護度が重度の利用者が多く、生前の最後の入浴を手掛けることも多いという。亡くなった後に家族から「よく知っているスタッフが方に湯灌してほしい」と頼まれることもあったが、従来は定款に盛り込んでおらず対応できなかった。新サービスを始めるため、昨年6月に定款を変更した。

10月からは葬儀やお別れの会をプロデュースするサービスも始める。全国の優良葬儀社と提携を進め、ツクイが運営する有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅（サ高住）などの利用者が増え、葬儀を望むかという声が多くなった。人柄や趣味などを伝え、葬儀の内容を家族や葬儀社に提案する。葬儀社の紹介も手掛ける。従業者や家族とも内容を共有し、葬儀の際だけでなく、日常のサービス向上にもつなげる。4月では、自分史や友人のリストなどをつづる「エンディングノート」を活用しながら全国の拠点に広げたい考えだ。

し、エンディングノートの活用や専門家の講演なども各拠点で要望があれば市や川崎市を始め、全国的に開く。早期に横浜も各拠点で要望があれば市や川崎市を始め、全国的に開く。今後には定